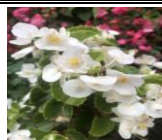


上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより
令和7年11月17日 第33号
文責 校長 齋藤 真

一体感のある素敵な合唱を披露 一関地方中文祭

11月13日（木）、一関文化センターにて、一関地方中学校総合文化祭が開催されました。文化祭直後から練習に取り組み、川崎中学校の合唱を伝えるため、みんなで考えながら歌を高めてきました。当日は午前の部に参加し、市内8校が集合。郷土芸能の発表や合唱の発表など、どの学校も特色ある発表で、会場を魅了しました。川崎中学校の出番は、合唱部門の一番目でした。トップバッターなので緊張するのではないかと見守っていましたが、大きなステージで自信のある歌声が響き渡りました。ピアノのリズムに乗って紡がれる「なないろ」、ゆったりとしたメロディで広がる「ありがとう」。歌い終わった後、万雷の拍手に包まれ、ステージを降りました。一人ひとりの満足感のある表情を見て、「そうだね、みんなやり切ったんだね。」と温かい気持ちが溢れました。川中の発表の後に続く他校の発表に見入り、自分たちとは違う良さを吸収しながら、大きな拍手を送る様子も素晴らしかったです。

帰り際、中文連の会長から「一体感のある、素敵な川崎中学校の合唱、ありがとうございました。」とご挨拶をいただきました。『一体感』という言葉が、とても川中らしく、嬉しく感じました。この日の鑑賞をこれからの財産にして、川中の合唱文化がますます高まっていくことを期待しています。



決定の日迫る 3年進路説明会

11月11日（火）に、3年生は進路説明会を行いました（同日、フリー参観がありましたが、たくさんのご来校ありがとうございました）。親子で進路の事務手続きを確認する会で、緊張感が漂っていました。悩んでも、頑張っても、さぼっても、集中しても、時間だけは同じ速度で進んでいきます。納得のいく進路決定ができるよう、濃密な時間を過ごしてほしいと願っています。

